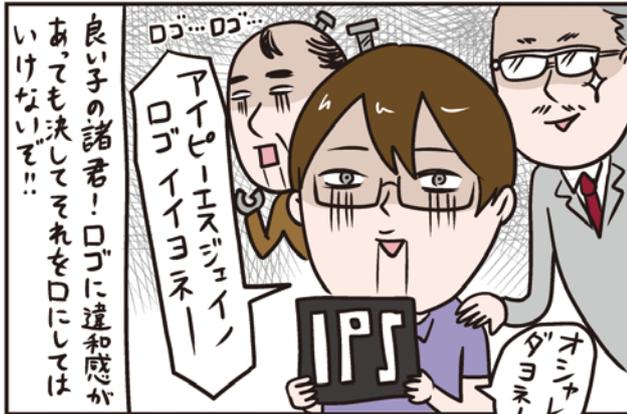
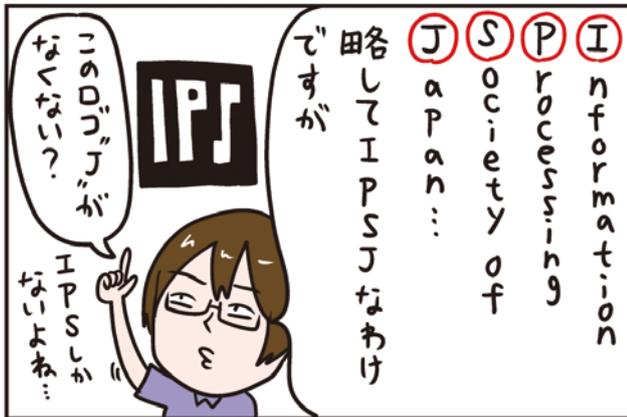


IT日和

イラスト 山本コウカ

vol.12 ロゴ



App Store アプリのお知らせ

アプリをダウンロードすると iPad, iPhone, iPod Touch といった iOS 端末から読むことができます!



会誌「情報処理」



デジタルプラクティス

アプリのダウンロードはこちら (無料)

デジタル
会誌「情報処理」プラクティス



情報処理学会 会員募集中!!

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます



研究会がたくさん♪

自分に合った分野が見つかりそう!

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

会誌「情報処理」58巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

応募条件 ・表紙のデザイン（裏表紙，背表紙は含まず）。

- ・A4判（天地 297mm × 左右 210mm）4色フルカラー。
- ・描画手法は問いません。
- ・「情報処理」の題字，巻号，法定文字，記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
- ・簡単なデザインコンセプトを添えてください。
- ・応募資格は問いません。

注意事項 ・応募作品は返却いたしません。

- ・採用作品の掲載にあたって，学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
- ・採用作品の著作権（著作権法第27条，第28条の権利を含む）は情報処理学会に帰属します。
- ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について，第三者との間に紛争が生じた場合は，作者がその責を負う）。
- ・応募される場合は，上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 2016年11月4日（金）（必着）

結果通知 2016年11月下旬

賞金 採用者1名に4万円

送付先／照会先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、5月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「ボーダー（境界）を越えて」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■個人的に知らない人だった。(匿名希望)

編集委員会特別企画「連載漫画「IT 日和」特集」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■わざわざ特集する必要もない気がした。(匿名希望)

■会誌の主旨から最も良かった記事にはできなかったが、最も楽しい内容であった。1つのITサービスであるという意識を持って継続してほしい。(吉田泰光)

■p.422は、土木学会誌の編集委員会の様子に重複するものがあり、皆さん、同じようなことに苦労されているのだなぁと痛感しました。ほかの学会との研究以外の場面での交流を試みるのも面白いかと思います。(山田菊子)

■編集委員会特別企画は、とにかく会誌を読んでもらいたいという、強い意志が感じられて良かったです。論文誌ではないので、最初から最後まで、堅苦しい内容にするよりは、頭を休めて読める記事があると、読みやすくていいと思います。(匿名希望)

特別解説「重力波の初検出と情報処理技術」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■天文学に計算機は不可欠な存在なので、KAGRAの裏側が分かって興味深かったです。Haskellが使われているのは知りませんでした。用語が多数出てくるので、もう少し平易に書かれていると専門外でも読みやすかったと思います。(匿名希望)

■重力波天文学の幕開けと、そこに至るまでに速報システムなどのソフトウェアの貢献があったことが興味深かった。(匿名希望)

特集「自動運転システムにおける情報処理技術の最新動向」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■レベル定義の話は記事間で重複して出ている。もう少し編集サイドで記事間の調整ができれば良いと思った。(匿名希望)

■自動運転システムについてはあまり興味がなかった。(匿名希望/ジュニア会員)

■一般的にも興味を持たれている分野なので学生に紹介する記事としてとても良かった。(後藤祐一)

■自動運転システムに関する全体の概要を知ることができて、非常に有意義でした。(匿名希望)

■車を運転するのが面白かったので、自動運転車の意義が理解できていなかったが、車を運転しなくなった状態で、交通の不便な田舎に住んでいると、必要なときに必要な交通手段を確保することの重要性を改めて感じる。交通網が発達して若者が多い大都市よりも、公共交通がなく高齢化して若者が少なくなった地方の方が切実な需要が発生していると思う。自動運転車にとっても不利な場所と思うが、ぜひ開発を進めてほしい。(匿名希望)

「1. 自動運転の開発動向」

■テーマからすると、もう少しメーカーの著者の記事があった方がバランスが良いのではと思った。(匿名希望)

「6. 自動運転に関する法規制と実証実験」

■研究者倫理や技術者倫理の重要性が増している現在、倫理だけでなく、法にも目を向けるべきであろう。その点から特集の「自動運転に関する法規制と実証実験」は興味深く読ませていただいた。(匿名希望)

シニアコラム「IT好き放題：古いがボンコツじゃない」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■鳥の鳴き声を収集して、データ分析することで、鳥の話している内容を理解できるようになるかもしれないという記事が印象に残りました。高校生の頃、部活動で、カラスの鳴き声を解明しようという提案をしたことがあったので、ビッグデータで本当に実現されそうなので驚きました。(長山知由理)

■学会の動向が分かった。(匿名希望)

解説「次世代人工知能技術」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■次世代人工知能技術に関して、さまざまな新組織が日本国内で立ち上がっている。特定の組織による記事ではなく、特集化して、それぞれの目指すことの違いなどが分かるようにした方が学会として公平性があると思う。(匿名希望)

教育コーナー「ぺた語義：教員養成系大学における1人1台のPC貸与实践」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■情報端末の活用は良い反面、頼り過ぎると自力で考える力が低下するのでマイナス面にもフォーカスすべきだと思っています。(匿名希望)

連載「会誌編集委員会女子部」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■女性の会員の存在を示すという意味で画期的です（少なくとも土木学会誌にはありません）。問題提起や提言を、学会としてどう捉えるかというフィードバックを示すと、書いていただく意義が明確になると思います。（山田菊子）

■コラムとはいえ、現象に対する解釈が短絡的過ぎると感じた。（匿名希望）

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■塚本編集長に登場してほしい。（大西鮎美）

■表紙がいわゆるマンガであり、オタク風なため社内ですら読むには躊躇してしまいます。女性でも手に取りやすく、季節を感じる表紙などにしてはいかがでしょうか。私は単にマンガ、アニメが嫌いということではありません。IT日和の4コママンガには思わず「あるある！」と思わせるものもあり、息抜きになります。難しいものと捉えられないよう、冊子内にこうした工夫があるのは大変良い試みだと思います。（伊東 香）

■ジュニア会員にもよく分かるような技術解説コーナーを作してほしい。（澤 佳祐／ジュニア会員）

■表紙が同じなので何月号か分からなくなることがあります。（清 夏実）

■技術者の倫理観、あるいは、技術を利用したサービス／製

品を提供する企業の経営者／投資家の倫理観に関するテーマを希望します。近年、技術者の研究不正などに対する倫理観の記事は世の中でよく見かけます。しかし、SNSなどが普及した際にさまざまな長所短所が想定される技術の公開に際して、ビジネス面（および長所）のみが重要視され、普及後に想定される社会問題（短所）が軽視（無視）されているように思います。（匿名希望）

■それぞれの研究や取り組みが、社会にどのような貢献するのか、影響を及ぼすのかについて、専門外の読者にも理解できるような記事内容構成を望みます。（匿名希望）

■非専門家でも読めるよう、分かりやすく書かれた記事が多かったのがありがたかったです。仕組みの詳細が気になり、掘り下げて知りたくなったら、各著者の論文を読めば良いので、非専門家がざっくりと動向を掴むには、これがちょうど良いボリュームかなと感じました。（匿名希望）

■HCI、実世界指向メディアについて興味があるので取り上げてほしい。（匿名希望／ジュニア会員）

■話題の深層学習について、数学的なベースから具体事例や課題まで、シリーズ化して取り上げてほしい。（吉田泰光）

■ひと昔前と比べると、一般受けの良い特集を組まれていると思います。これからも頑張ってください。（小林郁典）

■オーストラリアのNuix社によるパナマ文書に対する解析や、情報通信研究機構（NICT）による熊本の地震の後のツイッター解析「DISAANA」などのタイムリーな解説記事を期待します。（匿名希望）

【本欄担当 中島 悠，米谷雄介／会員サービス分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>>にも掲載しています。Web版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらもお参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>>で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門
E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書に記載する「宛名」, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿〔募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先〕を添えて下記の申込先へ, E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 税抜 20,000円 (税込 21,600円)
賛助会員(企業) 税抜 30,000円 (税込 32,400円)
賛助会員以外の企業 税抜 50,000円 (税込 54,000円)
*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 税抜 4,000円 (税込 4,320円) で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部(有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

***特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと**

■東京電機大学未来科学部情報メディア学科

募集人員 准教授または教授 1名(常勤, 任期なし)
専門分野 自然言語処理, 知識情報処理, ソフトウェア工学
担当科目 <学部科目>オートマトンと言語理論, コンパイラ, プログラミング言語論, データ構造とアルゴリズムなど
<大学院科目>自然言語処理
着任時期 2018年4月1日
応募締切 2016年7月24日(消印有効)
照会先 情報メディア学科事務室 教員公募係 E-mail: info@im.dendai.ac.jp
その他 詳細はWebページ(<http://www.im.dendai.ac.jp/recruit2016.pdf>)をご参照ください

■秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科

募集人員 准教授 1名
所属 農業農村環境グループ
専門分野 農業工学分野(生産システム工学領域)
農業農村環境グループの生産システム工学領域では, ICT(GISを含む)やロボット技術を活用した農業技術革新, 高度な情報処理による生産システム構築の研究を重視し, 教育面では, 農業工学分野と圃場生産システムの両面から教育を担っています。このために, 上記の手法の専門的経験を有し, 圃場生産のシステム革新や関連する教育および産学連携や農工融合の研究に意欲的に取り組み, また, その経験や成果を教育や地域貢献, 社会実装に活かすことにも積極的な人材を求めます

担当授業科目 圃場生産システム学, コンピュータリテラシー(分担), 農業技術実習(分担), プロジェクト実習(分担), プロジェクト卒業研究ほか

応募資格 (1)博士の学位を有し研究上の業績を有すること, またはそれと同等の能力を有すること, (2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること, 地域貢献にも意欲を持っていること, (3)国籍は問わないが, 日本語が堪能であること, (4)採用が決定した場合, 確実に着任できること

着任時期 2016年10月1日以降, 遅くとも2017年4月1日

提出書類 (1)履歴書(本学所定の様式1による^{*1}), (2)研究業績書(本学所定の様式2による^{*1})。研究業績は, ①学術論文(査読付き), ②国際会議発表論文(査読付き), ③その他に分類して記載してください。また, 主要なもの3編に○をつけてください, (3)主要論文(3編, コピー可), (4)これまでの研究, 教育および社会活動(地域貢献を含む)の概要^{*2}, (5)教育に対する抱負^{*2}, (6)研究・地域貢献に対する抱負^{*2}, (7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先, (8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は, 過去5年間における獲得状況のリスト ※1.履歴書(様式1)および研究業績書(様式2)については, Webページ(<http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/saiyo.htm>)をご参照ください ※2.1000字程度

応募締切 2016年7月29日(必着)

送付先/照会先 〒010-0444 秋田県南秋田郡大潟村南2-2 秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科 農業工学分野教員選考委員長 津田 渉 E-mail: sho5472@akita-pu.ac.jp Tel(0185)45-3922(ダイヤルイン) Fax(0185)45-2377
「農業工学分野教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却しません

その他 勤務条件等: (1)身分: 公立大学法人職員, (2)給与: 職位・業績・職務内容に応じた年俸制, (3)勤務: 裁量労働制, (4)任期: 5年の任期制(再任回数に制限はありません), (5)定年: 67歳
選考方法: (1)第一次選考: 提出書類審査, 学部選考委員会による面接, (2)第二次選考: プレゼンテーション, 役員による面接
*面接の旅費等は自己負担となります
秋田県立大学は, 男女共同参画社会基本法の趣旨に則り, 男女共同参画を推進しています。有為の女性の積極的な応募を期待します

■福井大学学術研究院工学系部門情報・メディア工学分野

募集人員 教授 1名
 専門分野 映像メディア工学に関連する分野
 担当科目 (大学院)博士前期課程および博士後期課程：上記の専門分野に関連する授業2～3科目(英語で行う授業を含む)
 (学 部)情報・メディア工学に関する授業2～3科目(離散数学, コンピュータグラフィクス, 多変量解析等), ハードウェア関連の実験・演習系科目の内から1～2科目
 応募資格 博士の学位を有し, 上記の専門分野および担当科目について基礎から実践に至る総合的な教育や研究上の実績を有し, IoT関連分野でのハードウェアおよびソフトウェア両面に関する実践的な教育・研究を主導でき, 地域貢献・国際交流活動に関する実績があり, 地方大学のミッションを理解し学科・専攻等の大学組織の運営に中心となって取り組めること
 着任時期 2016年12月1日
 提出書類 「その他」に記載されたWebページでご確認ください
 応募締切 2016年8月1日(必着)
 送付先/照会先 〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1 福井大学学術研究院工学系部門情報・メディア工学分野 分野長 山田徳史
 E-mail: yamada * u-fukui.ac.jp (*を@に変えてください) Tel(0776)27-8909 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 そ の 他 詳細はWebページ (http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/recruit/teachers/ または <https://jrecin.jst.go.jp>) をご覧ください

■警視庁特別捜査官

募集人員 コンピュータ犯罪捜査官 警部補(4級職) / 巡査部長(3級職)
 専門分野 システム開発能力, ネットワーク構築能力, インターネット・セキュリティに関する専門的知識, データベースに関する知識等
 担当分野 各種ハイテク機器・情報の解析, サイバー犯罪の捜査, サイバー犯罪防止のためのセキュリティ対策等
 応募資格 警部補(4級職): 1977年4月3日から1990年4月2日までに生まれた方でシステムアナリスト, テクニカルエンジニア, システム監査技術者, 技術士(情報工学部門)またはこれに相当する資格^{*1}を有し, かつ民間等における5年以上の有用な職歴を有する方
 ※1. 「これに相当する資格」とは, ITストラテジスト・システムアーキテクト・プロジェクトマネージャー・ネットワークスペシャリスト・データベーススペシャリスト・ITサービスマネージャー・上級システムアドミニストレータなどを言う
 巡査部長(3級職): 1982年4月3日から1992年4月2日までに生まれた方でソフトウェア開発技術者またはこれに相当する資格^{*2}を有し, かつ民間等における3年以上の有用な職歴を有する方
 ※2. 「これに相当する資格」とは, 応用情報技術者・情報セキュリティスペシャリスト・情報セキュリティアドミニストレータなどを言う
 着任時期 合格者は, 原則として2017年4月1日以降に, 合格した種別・階級の警察官として採用します
 提出書類 採用選考申込書に必要事項を記入して郵送により申し込んでください。第1次選考通過者は, 第2次選考当日に受験資格に該当する経歴・資格を証明する書類を持参してください
 応募期間 2016年7月19日～8月16日(消印有効)
 送付先/照会先 〒183-8555 東京都府中市朝日町3-15-1 警視庁採用センター
 Tel(0120)314-372 (フリーダイヤル) / (042)334-0131 (直通)
 そ の 他 詳細は警視庁採用サイト (<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/saiyo/28/>) を参照ください

■富山県立大学工学部情報システム工学科

募集人員 (1)～(3)教授, 准教授または講師 3名, (4)講師または助教 1名
 所属講座 工学部電子・情報工学科(2017年4月に情報システム工学科から名称変更予定)
 (1)集積機能デバイス工学講座^{*}, (2)電子通信システム工学講座^{*}, (3)情報基盤工学講座^{*}, (4)情報システム工学講座^{*} ※仮称
 専門分野 (1)パワーエレクトロニクス工学分野, (2)制御工学分野, (3)ビッグデータ分析技術分野, (4)生体情報工学分野
 応募資格 博士の学位を有することなど。詳細は下記Webページをご参照ください
 着任時期 2017年4月1日
 提出書類 下記Webページをご参照ください
 応募締切 2016年8月19日(必着)
 送付先/照会先 〒939-0398 富山県射水市黒河5180 富山県立大学工学部情報システム工学科 主任教授 鳥山朋二
 E-mail: toriyama@pu-toyama.ac.jp Tel(0766)56-7500 (ext.180)
 そ の 他 詳細は, 本学Webページ (<http://www.pu-toyama.ac.jp/>) をご覧ください

■秋田県立大学生物資源科学部附属フィールド教育研究センター

- 募集人員 教授 1名
 所属 フィールド農学研究グループ
 専門分野 農業機械・作業技術学分野
 フィールド農学研究グループの農業機械・作業技術学分野では、機械の開発・改良、作業システムの開発、そしてこれらを活用した食料生産システムの体系化についての研究を進めています。そのため、農業機械や作業技術の開発に関する研究経歴を有し、作業システム開発、生産システムの体系化に関する研究や教育、地域貢献に積極的に取り組み、フィールド教育研究センターにおける教育研究資源の管理と応用を担う意欲のある方を求めます
- 担当授業科目 生物資源科学と農業生産(分担)、フィールド農学序説(分担)、圃場生産システム学(分担)および関連演習・実習等、プロジェクト卒業研究
- 応募資格 (1)博士の学位を有し研究上の業績を有すること、またはそれと同等の能力を有すること、(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること、(3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること、(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
- 着任時期 2017年4月1日
- 提出書類 (1)履歴書(本学所定の様式1による^{*1})、(2)研究業績書(本学所定の様式2による^{*1})、研究業績は、①学術論文(査読付き)、②国際会議発表論文(査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なものを5編に○をつけてください、(3)主要論文(5編、コピー可)、(4)これまでの研究、教育および社会活動(地域貢献を含む)の概要^{*2}、(5)教育に対する抱負^{*2}、(6)研究・地域貢献に対する抱負^{*2}、(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先、(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況のリスト ※1.履歴書(様式1)および研究業績書(様式2)については、Webページ(<http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/saiyo.htm>)をご参照ください ※2.1000字程度
- 応募締切 2016年8月26日(必着)
- 送付先/照会先 〒010-0444 秋田県南秋田郡大潟村南2-2 秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科 農業機械・作業技術分野教員選考委員長 津田 渉 E-mail: sho5472@akita-pu.ac.jp Tel(0185)45-3922 (ダイヤルイン) Fax(0185)45-2377
 「農業機械・作業技術学分野教員募集類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却しません
- その他 勤務条件等: (1)身分: 公立大学法人職員、(2)給与: 職位・業績・職務内容に応じた年俸制、(3)勤務: 裁量労働制、(4)任期: 5年の任期制(再任回数に制限はありません)、(5)定年: 67歳
 選考方法: (1)第一次選考: 提出書類審査、学部選考委員会による面接、(2)第二次選考: プレゼンテーション、役員による面接
 ※面接の旅費等は自己負担となります
 秋田県立大学は、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、男女共同参画を推進しています。有為の女性の積極的な応募を期待します

■岡山理科大学工学部情報工学科

- 募集人員 助教または講師 2名
 専門分野 (教員1)情報ネットワーク分野、(教員2)データ解析分野
 担当予定科目 (教員1)情報ネットワーク基礎論、コンピュータネットワーク、卒業研究など
 (教員2)応用数学(フーリエ解析、微分方程式、ラプラス変換)、情報数学(確率・統計)、数値計算、卒業研究など
- 応募資格 博士の学位を有し、教育・研究に対して十分な能力と熱意のある方(着任時学位取得見込み可)
- 着任時期 2017年4月1日
- 提出書類 (1)履歴書、(2)主要論文別刷(10編以内)、および実務経験を有する方はその具体的内容を説明する資料等(コピー可)、(3)教員資格申請書(下記Webページよりダウンロードした様式1~7に記入したもの)、(4)業績、教育などについて問い合わせできる方2名の氏名と連絡先(内1名の方の推薦書があることが望ましい)
- 応募締切 2016年8月31日(必着)
- 送付先/照会先 〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1 岡山理科大学工学部情報工学科 学科長 島田英之
 E-mail: hshimada@ice.ous.ac.jp Tel(086)256-9507 「教員応募」と朱書き直接手渡しあるいは簡易書留
- その他 詳細および様式のダウンロードはWebページ(<http://www.ous.ac.jp/boshuu/index.html> (※7/22公開予定))を参照ください

■福井大学学術研究院工学系部門情報・メディア工学分野

- 募集人員 講師 1名
 専門分野 IoT関連分野(ハードウェア系またはソフトウェア系)
 担当科目 (大学院)博士前期課程: 上記の専門分野に関連する授業1~2科目(英語で行う授業を含む)。博士後期課程での授業を担当することがある
 (学部)情報・メディア工学に関する授業4~5科目(実践的な実験・演習系の科目を含む)
- 応募資格 博士の学位取得後5年以内であり、上記の専門分野および担当科目について、基礎から実践に至る総合的な教育や研究上の実績を有していること
- 着任時期 2017年1月1日以降のできるだけ早い時期
- 提出書類 「その他」に記載されたWebページでご確認ください
- 応募締切 2016年8月31日(必着)
- 送付先/照会先 〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1 福井大学学術研究院工学系部門情報・メディア工学分野 分野長 山田徳史
 E-mail: yamada * u-fukui.ac.jp (*を@に変えてください) Tel(0776)27-8909 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
- その他 詳細はWebページ(http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/recruit/teachers/ または <https://jrecin.jst.go.jp>)をご覧ください

■福井大学学術研究院工学系部門情報・メディア工学分野

募集人員 講師または助教 1名(助教として採用する場合の任期等については「その他」に記載されたWebページでご確認ください)

専門分野 IoT関連分野(ハードウェア系またはソフトウェア系)

担当科目 (大学院)博士前期課程:上記の専門分野に関連する授業1~2科目(英語で行う授業を含む)。講師の場合、博士後期課程での授業を担当することがある
(学 部)情報・メディア工学に関する授業4~5科目(実践的な実験・演習系の科目を含む)

応募資格 講師として応募する場合は、博士の学位取得後5年以内であること。助教として応募する場合は、博士の学位取得後3年以内であること(2017年3月末までに取得見込みの方も応募可)。上記の専門分野および担当科目について、基礎から実践に至る総合的な教育や研究上の実績を有していること

着任時期 2017年1月1日以降のできるだけ早い時期(2017年3月末までに学位取得見込みの方が助教で応募する場合には2017年4月1日)

提出書類 「その他」に記載されたWebページでご確認ください

応募締切 2016年8月31日(必着)

送付先/照会先 〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1 福井大学学術研究院工学系部門情報・メディア工学分野 分野長 山田徳史
E-mail: yamada * u-fukui.ac.jp (*を@に変えてください) Tel(0776)27-8909 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留

その他 詳細はWebページ(http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/recruit/teachers/ または <https://jrecin.jst.go.jp>)をご覧ください

■東京都市大学メディア情報学部情報システム学科

募集人員 教授または准教授 1名

専門分野 ソフトウェア工学(ソフトウェア設計・テスト・保守、ソフトウェア開発工程、システム分析、プログラミングなど)

担当科目 ソフトウェア開発技法、企業統治と情報管理、システムソリューション、システム開発演習A、ソフトウェア開発特論(大学院)など

応募資格 博士の学位を有し大学院においても教育・指導ができる方、詳細は下記Webページをご覧ください

着任時期 2017年4月1日

提出書類 下記Webページをご覧ください

応募締切 2016年9月5日(必着)

照会先 情報システム学科 主任教授 八木伸行 E-mail: yagi@tcu.ac.jp

その他 詳細はWebページ(<http://www.tcu.ac.jp/recruitinformation/index.html#d2>)をご覧ください

■岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻

募集人員 教授 1名

所 属 情報通信システム学講座(学部では、工学部電気通信系学科通信ネットワークコース)

専門分野 セキュリティ、暗号に関連する分野、大学院および学部教育として情報・通信・ネットワーク関連の科目を担当できること

応募資格 (1)博士の学位を有すること、(2)教育ならびに研究に意欲的であること、(3)学部および大学院での教育・研究指導ができること、(4)外国語による講義を行うことができる能力を有すること

着任時期 2017年4月1日以降のできるだけ早い時期

提出書類 ①履歴書、②学会および社会における活動、③教育に関する経歴書、④研究業績概要書、⑤研究業績目録、⑥論文・著書などの別刷(主要なもの5編以内、コピー可)、⑦着任後の研究計画、⑧教育に対する抱負、⑨応募者についての推薦書2通または推薦できる方2名以上の連絡先、⑩その他選考の参考となる資料(提出は任意)
様式は岡山大学大学院自然科学研究科Webページ(http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/other/koubo_index.html)からダウンロードして下さい

応募締切 2016年9月13日(必着)

送付先/照会先 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中3-1-1
岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻 情報通信システム学講座教員候補者選考委員会 委員長 船曳信生
E-mail: funabiki@okayama-u.ac.jp Tel(086)251-8147

その他 詳細は岡山大学大学院自然科学研究科Webページを参照ください

■岐阜大学工学部機械工学科

募集人員 准教授 1名
 所 属 知能機械コースメカトロシステム工学講座
 専門分野 ロボットの知能化(視覚・認識・意思決定)・メカトロニクス・生産システムなど、モノづくりにおけるロボット・生産技術関連分野
 担当予定科目 機械工学科科目、機械工学実験・実習・演習などの専門科目と、線形代数、ベクトル解析などの基礎・教養科目の複数を担当していただく
 応募資格 (1)博士の学位あるいはPhDを有する方、(2)専門分野に優れた業績があり、大学院博士後期課程の講義を担当できる方、(3)外国人の場合には、学内諸業務の遂行が可能な日本語能力を有する方
 着任時期 2017年4月1日
 応募締切 2016年9月30日(必着)
 照 会 先 工学部機械工学科知能機械コース 山田貴孝 E-mail: yamat@gifu-u.ac.jp
 そ の 他 選考方法:書類選考後、面接を実施します
 詳 細: JREC-IN / 岐阜大学、または岐阜大学Web ページ (https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D116060265&ln_jor=0)を参照ください

■豊橋技術科学大学情報・知能工学系

募集人員 助教 1名
 所 属 メディア・ロボット情報学
 専門分野 ロボット情報学に関連する分野. たとえば, 社会的ロボティクス, ヒューマン・ロボットインタラクション, インタラクションの認知科学, 次世代ヒューマンインタフェースなど
 応募資格 博士の資格を有するか着任までに取得見込みで, 当該分野において研究実績があり, 情報・知能工学に関連する学生実験科目およびプログラミング演習科目を担当可能で, 学生の教育研究指導に熱意を有する方
 着任時期 2017年4月1日
 提出書類 (1)履歴書, (2)研究業績リスト, (3)主要論文別刷, (4)学会・社会における活動状況, (5)外部資金獲得状況, (6)これまでの研究概要, (7)着任後の研究教育の抱負, (8)応募者について所見を伺える方2名の連絡先
 応募締切 2016年9月30日(必着)
 送 付 先 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学情報・知能工学系 系長 石田好輝
 「メディア・ロボット情報学分野教員公募」と朱書き書留 *応募書類は返却いたしません
 照 会 先 情報・知能工学系 教授 岡田美智男 E-mail: okada@tut.jp Tel(0532)44-6886
 そ の 他 詳細はWeb ページ (<http://www.tut.ac.jp/about/kyoin-koubo.html>)またはJREC-INをご参照ください

■大阪電気通信大学情報通信工学部通信工学科

募集人員 講師, 准教授, 教授(業績による) 1名(任期:なし(本学定年規定による))
 専門分野 光伝送工学, 光エレクトロニクス
 担当教育科目 電子回路, 光通信工学, 光エレクトロニクス, 情報伝送工学, 工学基礎実験など
 応募資格 ・上記専門分野の教育と研究, および研究指導に熱意を持って取り組める方, ・博士の学位を有し, 大学院を担当できる方, ・通信工学における最新技術動向を常に把握し, 本学および学科の将来発展に向けて, リーダシップを発揮できる方
 着任時期 2017年4月1日以降
 提出書類 1. 履歴書(学歴, 職歴, 教育経歴. 市販用紙でも可), 2. 業績リスト(タイトル, 編著書名, 雑誌名, 巻号, 発行年, ページを含め, 次のように分類して発行年順に収録:(a) 著書および編著(編著書名, タイトル, 出版社名, 出版年), (b) 学位論文, (c) 原著論文 A (Full paper), (d) 原著論文 B (Letter および Short note 等), (e) 国際会議 Proceedings 収録論文(本人登壇のものに※印), (f) 総説・解説等, (g) 紀要や研究会報告等の収録論文, (h) 特許などの状況, (i) 口頭発表, (j) 外部資金獲得状況, (k) 主な教育経験・教育実績(社会貢献等も含む)), 3. 主要論文別刷(5編以内を各1部, コピー可), 4. 教育に関する抱負(A4用紙1枚程度), 5. これまでの研究の概要と着任後数年の研究計画(A4用紙2枚程度), 6. 応募者に関して照会可能な方(2名)の氏名と連絡先
 応募締切 2016年10月7日(必着)
 送 付 先 〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8 大阪電気通信大学 大学事務局長
 「通信工学科 応募書類在中」と朱書き簡易書留またはレターバックプラスにて送付 *原則として提出書類は返却しません
 照 会 先 情報通信工学部通信工学科 主任 村上泰司 E-mail: mura@osakac.ac.jp (件名を「通信工学科 公募」としてください)
 Tel(072)824-1131 (代)
 そ の 他 応募書類に含まれる個人情報, 選考および採用以外の目的には使用しません
 待遇: 本学給与規定による
 選考内容: 書類選考を経て面接(プレゼンテーションを含む)を実施します. 面接にあたり, 旅費・滞在費等は応募者の負担となります

FIT2016 第 15 回情報科学技術フォーラム開催の御案内

FIT2016Web サイト : <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2016/index.html>

主催：電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ/ヒューマンコミュニケーショングループ、情報処理学会
協賛：国立大学法人 富山大学

電子情報通信学会（情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ）と情報処理学会とは2002年から合同で毎年秋季にFIT (Forum on Information Technology) を開催しており、来る2016年9月に第15回目を富山大学で開催致します。開催当日も聴講参加受付を致しますので、皆様、どうぞ奮って御参加下さい。

会期：2016年9月7日（水）～9日（金）
会場：富山大学 五福キャンパス（富山市五福3190）
交通：<市内電車>

JR富山駅前「富山駅」停留所より約15分「大学前」停留所下車 徒歩約5分

※お車（自家用車）での御来場は御遠慮下さい。また、キャンパス近隣への駐車も御遠慮下さい。車イス等で駐車場が必要な場合は事前にお知らせ下さい。

当日受付場所：黒田講堂 エントランスホール
当日受付時間：8:30-16:30（9日のみ15:00まで）

■聴講参加費（税込）

参加区分	参加費
正会員	12,000円（プログラム・参加章・DVD-ROM）
非会員	24,000円（プログラム・参加章・DVD-ROM）
学生	無料（プログラム・参加章）

※会員、非会員、学生の参加区分の区別は以下のとおりです。

会員：電子情報通信学会、情報処理学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び情報処理学会と協定を締結した海外の学会（ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI）または電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会（IEIE、APSIPA、ECIT、IEEE/ComSoc、KICS、VDE/ITG、KIEES、CIC、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S、IEEE/CS、KIISE）の個人会員に限ります。

非会員：上記の学会会員以外で学生以外の方。

学生：会員/非会員を問わず無料（DVD-ROMは付きません）。

社会人学生の方も、学生証を総受付で呈示頂ければ無料です。

■開催イベント企画[予定]

今回のFITでは以下の講演会、パネル討論等のイベント開催を予定しております（詳細は逐次FIT2016Webサイトに掲載致します）。

◎船井業績賞受賞記念講演

8日14:00-15:15 第1イベント会場（黒田講堂 ホール）
「初音ミクは、なぜ世界で支持されるのか」
伊藤博之（クリプトン・フューチャー・メディア）

◎FIT学術賞表彰式

8日13:00-13:50 第1イベント会場（黒田講堂 ホール）

第1イベント会場（黒田講堂 ホール）

8日 13:00-13:50 FIT学術賞表彰式
14:00-15:15 船井業績賞受賞記念講演

第2イベント会場（共通教育棟A棟 A21）

7日 9:30-12:00 8K試験放送開始！実用化が進むMMTの最新状況と展望
13:00-15:00 ここから始める情報処理～画像、音声、テキスト、検索、学習、一気にまとめてチュートリアル～
15:30-17:30 劣線形ビッグデータ時代を切り開くキーワード
8日 9:30-12:00 実世界でのビッグデータ分析・実データ活用の実例
15:30-17:30 ダイバーシティ社会に向けたワークプレースを考える
9日 9:30-12:00 助教が吼える！ 各界の若手研究者大集合
13:00-16:00 Python によるデータ分析 - 分析の基本とデータ分析コンペでの実践

第3イベント会場（共通教育棟A棟 A23）

7日 15:30-17:30 FIT2016 BUSINESS TREND これが情報技術×ビジネスの最先端だ！
8日 9:30-12:00 Real Estate Tech：不動産×IT ～ITが拓く不動産の未来～
9日 9:30-12:00 小直径グラフの追究 ～グラフ理論の未解決問題とインターコネクトの未来～
13:00-16:00 ポストムーブコンピューティングのためシリコン技術

第4イベント会場（共通教育棟C棟 C11）

7日 13:00-17:30 パターン認識・メディア理解の技術が教育・学習支援にどのように活かせるか
8日 15:30-17:30 ソーシャルビッグデータの利活用によるオープンスマートシティの構築

第5イベント会場（共通教育棟B棟 B21）

7日 9:30-12:00 第7回相磯杯 The 2nd RECONF/CPSY/ARC/GI Trax デザインコンペティション 予選
13:00-15:00 第7回相磯杯 The 2nd RECONF/CPSY/ARC/GI Trax デザインコンペティション 本選
15:30-17:30 PoTS映像学事始め 第2章
8日 9:30-12:00 10年後も情報科学技術者であるために
15:30-17:30 未来のICTリーダー育成

■懇親会

開催日時：9月8日（木）18:00～20:00

会場：大学食堂

参加費：社会人 5,000円、学生 2,000円、
一般講演座長または査読者 3,000円

■冊子講演論文集・DVD-ROM販売価格（税込）

品物	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	60,000円	60,000円
講演論文集各分冊	13,000円	16,000円
DVD-ROM	9,000円	56,000円

※セットには、DVD-ROM、セットカバーが付きまます。

※DVD-ROM学割会場販売価格4,000円

※会期中も講演論文集、DVD-ROMの販売を致しますが残部のある限りとなりますのであらかじめ御承下さい。

■講演論文集の内容（分野）

第1分冊：モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ
第2分冊：データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学
第3分冊：画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育工学・福祉工学・マルチメディア応用
第4分冊：ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム
DVD-ROM：上記全論文とプログラムを収録
（著者、所属、キーワードによる索引付き）
※FIT 査読付き論文の採択論文は各投稿分野の論文集分冊へそれぞれ掲載

■次年度のFIT2017開催

2017年9月東京大学にて開催予定

■問い合わせ（FIT2016幹事学会）

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内
一般社団法人電子情報通信学会 大会・研究会部 FIT担当
TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659
E-mail : ieicefit@ieice.org

CONTENTS

Preface

- 698 **Internet and Education**
Yoichi OKABE (The Open Univ. of Japan)

Special Article

- 700 **Problems Concerning about Maintenance of Removal Medium Including Japanese "My Number"**
Yoichiro ITAKURA (Hikari Sogoh Law Offices)

Contribution

- 788 **Memorial Prof. Suguru Yamaguchi - To Build the Internet to Bring Happiness for Everybody ~ His Hope and His Remaining Issues**
Hideki SUNAHARA (Keio Univ.)

Special Features

SAT Evolution and Applications

- 703 **0. Foreword**
Mutsunori BANBARA (Kobe Univ.), Hidetomo NABESHIMA (Univ. of Yamanashi) and Akimasa MORIHATA (The Univ. of Tokyo)
- 704 **1. SAT Evolution**
Mutsunori BANBARA (Kobe Univ.) and Hidetomo NABESHIMA (Univ. of Yamanashi)
- 710 **2. Satisfiability and Puzzles - How to Solve Problems with a SAT Solver -**
Naoyuki TAMURA, Takehide SOH and Mutsunori BANBARA (Kobe Univ.)
- 716 **3. SAT and Ramsey Numbers**
Hiroshi FUJITA and Miyuki KOSHIMURA (Kyushu Univ.)
- 720 **4. SAT and AI**
Katsumi INOUE (National Institute of Informatics / SOKENDAI : The Graduate Univ. for Advanced Studies / Tokyo Institute of Technology)
- 724 **5. Recent Topics of SAT Solvers**
Hidetomo NABESHIMA, Koji IWANUMA (Univ. of Yamanashi) and Katsumi INOUE (National Institute of Informatics / SOKENDAI : The Graduate Univ. for Advanced Studies / Tokyo Institute of Technology)
- 730 **6. MaxSAT : An Extension of SAT to Solve Optimization Problem**
Miyuki KOSHIMURA and Hiroshi FUJITA (Kyushu Univ.)
- 734 **7. Program Verification Using SMT Solvers**
Daisuke ISHII (Univ. of Fukui) and Kazunori UEDA (Waseda Univ.)

Articles

- 738 **Sport Information Processing by Using Sensing Technology**
Masaaki HONDA and Takeshi IKENAGA (Waseda Univ.)
- 744 **Information Processing of Digital Handwriting**
Hiroki ASAI (Waseda Univ.)

Series : Welcome to the Programming World

- 749 **0. Foreword**
Kazutsuna YAMAJI (National Institute of Informatics)
- 750 **Let's Learn Programming!**
Masako FURUKAWA (National Institute of Informatics)
- 754 **Introductory Programming Guide (First Part) - Modifying Bit-kun's Twitter Page -**
Kazunori SAKAMOTO (National Institute of Informatics)

Reports : The 2015 IPSJ Best Paper Award

- 771 **Foreword**
Akiko AIZAWA (National Institute of Informatics)
- 772 **What are Privacy-Preserving Technologies for?**
Masayuki TERADA (Research Labs, NTT DOCOMO, Inc.)

- 773 **Passion for Drawing Style Creates Good Amateurism**
Shigeru KURIYAMA (Toyohashi Univ. of Technology)
- 774 **Towards Knowledge Discovery from Massive Spatio-Temporal Data**
Xiaoliang GENG (Hitachi (China) Research & Development Corp.)
- 775 **Toward Mitigating Over-Assignments to Particular Developers**
Yutaro KASHIWA (Hitachi, Ltd.)
- 776 **A Method for Navigating Cars in Multilevel Parking Facility**
Sun WEIHUA (Shiga Univ.)
- 777 **Towards the Scalable pub/sub Platform for IoT Services**
Ryohei BANNO (Nippon Telegraph and Telephone Corp.)
- 778 **LET • ME • DO!!**
Takaaki MIYAJIMA (Japan Aerospace Exploration Agency (JAXA))

Reports : The 2015 IPSJ Nagao Special Researcher Award

- 779 **Foreword**
Hideyuki TOKUDA (Keio Univ.)
- 780 **Researcher's Optimism and Pessimism**
Michihiro KOIBUCHI (National Institute of Informatics)
- 781 **Aiming for a Mobile Network System that Supports the Future**
Katsuhiko NAITO (Aichi Institute of Technology)
- 782 **15 Years of Research Absorption**
Yoshiki HIGO (Osaka Univ.)
- 783 **Toward Realizing Useful Researches**
Yasuhiro FUJIWARA (NTT Software Innovation Center)

Reports : The 2015 IPSJ Kiyasu Special Industrial Achievement Award

- 784 **Foreword**
Akira MAEDA (Hitachi, Ltd.)
- 785 **Immersion Liquid Cooled Proprietary Supercomputer Development by Skunk Works Method - Development of Power Efficient Proprietary Many Core Processor "PEZY-SC" and New Supercomputer Utilizing It -**
Motoaki SAITO (PEZY Computing, K. K.), Yasuyuki KIMURA (ExaScaler Inc.), Kei ISHII, Shuntaro TSUNODA and Atsushi SATO (PEZY Computing, K. K.)
- 786 **Looking Back on SQL DBMS Development for Almost Twenty Years**
Masashi TSUCHIDA, Takashi KOTERA, Nobuo KAWAMURA, Yukio NAKANO and Norihiro HARA (Hitachi, Ltd.)
- 787 **Toward Providing Advanced Solutions for Extracting Findings from Text Data**
Masaaki TSUCHIDA, Kai ISHIKAWA, Toshiyasu NAKAO, Daichi IWATA and Daniel ANDRADE (NEC Corp.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 748 **Another Refugee Issue**
Kazuo FURUKAWA (New Energy and Industrial Technology Development Organization)

"Peta-gogy" for Future

- 761 **Zenkojoken Introduction**
Shigeo NOSHIRO (Tokyo Metropolitan Mitaka Secondary School)
- 762 **Teacher Training Suitable for Informatization of Education in Cooperation with Neighboring School**
Yutaka FUJIWARA and Naoki KATO (Tokyo Gakugei Univ.)
- 767 **Guidance Meeting for the Students to be Information and Science Teachers**
Yoshitaka TANIKAWA (Chiba Prefectural Yachiyo East High School)

760 The Women's Club of the Editorial Committee
of the IPSJ Magazin
790 Activities of IPSJ - Special Reports by the Female
Team of IPSJ Magazine -
794 Biblio Talk

796 Conference Report
798 Conference Report

<会誌編集委員会>

編集長 塚本 昌彦

担当理事 加藤 由花 鳥澤健太郎

編集委員 五十嵐悠紀 池谷 彰彦 金岡 晃
酒井 洋平 佐藤 史子 末永俊一郎
角 康之 田名部元成 辻田 眸
鶴岡 慶雅 土井 千章 永野 秀尚
坊農 真弓 松崎 公紀 村上 知子
茂木 和彦

(会員サービス分野 / MWG)

主 査 高橋ひとみ
幹 事 金井 遵
委 員 青木 秀貴 大見 嘉弘 尾張 正樹
川本 淳平 北山 大輔 米谷 雄介
杉山 弘晃 田坂 和之 谷田 英生
中川 香織 中島 悠 中野 圭介
花田 英輔 森田 一 油井 誠

(教育分野 / EWG)

主 査 坂東 宏和
幹 事 久野 靖
委 員 伊藤 一成 稲葉利江子 上松恵理子
掛下 哲郎 兼宗 進 駒谷 昇一
斎藤 俊則 下房地 毅 鈴木 貢
高岡 詠子 辰己 丈夫 長 慎也
西田 知博 渡辺 博芳

(アプリケーション分野 / AWG)

主 査 金子 格
幹 事 原 英樹 松本 堯
委 員 今井 晴基 小出 誠二 近藤 功
竹之内隆夫 竹山 治彦 田中 功一
西田 京介 平林 光浩 藤田 昌克
細野 繁 宮崎 淳 山下 倫央

(システム分野 / SWG)

主 査 菅谷みどり
幹 事 齊藤 和広
委 員 大河内一弥 落合 秀也 加藤 正恭
上條 浩一 新谷 隆彦 竹中 崇
中田 尚 林 夏美 福田 茂紀
間瀬 正啓 的野 晃整 宮澤 慎一
山田 浩史

(基礎・理論分野 / FWG)

主 査 長野 徹
幹 事 野田 夏子
委 員 河東 孝 加藤 弘之 河村 彰星
金 天海 谷口 徹 戸田 貴久
平野 敏弘 森畑 明昌

IPSJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」 特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-L.html	7月22日(金)		
	デジタルプラクティス「社会に浸透する画像認識」特集へ の論文投稿のご案内 http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0802s.html	8月5日(金)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-F.html	8月10日(水)		
	論文誌「情報システム論文」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-M.html	8月10日(水)		
	論文誌「ネットワーク科学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-H.html	10月3日(月)		
	論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC 2016」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-T.html	10月28日(金)		
	論文誌「離散と計算の幾何・グラフ・ゲーム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-N.html	10月31日(月)		
	論文誌「高度化するサイバー攻撃に対応するコンピュータ セキュリティ技術」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-R.html	11月25日(金)		
7月13日(水)～ 7月15日(金)	第193回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se193.html	5月11日(水)	当日のみ	北海道道民活動 センター
7月14日(木)～ 7月15日(金)	第74回コンピュータセキュリティ・第19回セキュリティ 心理学とトラスト合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec74spt19.html	5月10日(火)	当日のみ	山口大学吉田キャン パス大学会館
7月15日(金)～ 7月16日(土)	第102回ドキュメントコミュニケーション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dc102.html	5月14日(土)	当日のみ	広島RCC文化センター
7月22日(金)	連続セミナー 2016 第2回「ビッグデータ活用を支えるクラウド基盤技術」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html		定員になり次第	日本大学理工学部駿河 台校舎1号館/ 大阪大学中之島センター
7月25日(月)	第109回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://daemon.inf.uec.ac.jp/MPSPortal/events/mps109		当日のみ	Monte Carlo Resort, Las Vegas
7月28日(木)～ 7月30日(土)	第112回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp112.html	5月16日(月)	当日のみ	天童温泉・ほほえみの 宿「滝の湯」
7月29日(金)～ 7月30日(土)	第1回アクセシビリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/aac1.html	5月20日(金)	当日のみ	国立情報学研究所
7月29日(金)～ 7月30日(土)	第227回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl227.html	6月21日(火)	当日のみ	岡山県立大学
7月30日(土)	第111回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch111.html	6月9日(木)	当日のみ	長崎県五島市 福江文化会館
7月30日(土)～ 8月1日(月)	第112回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus112.html	6月9日(木)	定員になり次第	東京理科大学 野田キャンパス
7月31日(日)	関西支部 2016年度セミナー「小中学生のための情報科学教室」 https://kansai.ipsj.or.jp/2016schoolchildren/			近畿大学本部 キャンパス
8月4日(木)～ 8月5日(金)	第51回ユビキタスコンピューティングシステム・ 第5回高齢社会デザイン合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi51asd5.html	6月20日(月)	当日のみ	パナソニック・ ワンダーラボ大阪 (大阪府門真市)
8月5日(金)～ 8月6日(土)	第36回ゲーム情報学・第41回エンタテインメント コンピューティング合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi36ec41.html	6月17日(金)	当日のみ	サン・リフレ函館
8月5日(金)～ 8月6日(土)	第184回知能システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics184.html	6月27日(月)	当日のみ	長野県 国際高等セミ ナーハウス
8月8日(月)～ 8月9日(火)	第93回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm93.html	6月16日(木)	当日のみ	九州工業大学 戸畑キャンパス
8月8日(月)～ 8月10日(水)	2016年並列/分散/協調処理に関する『松本』サマー・ワーク ショップ (SWoPP2016) https://sites.google.com/site/swoppweb/swopp2016	5月13日(金)	当日のみ	キッセイ文化ホール
8月22日(月)～ 8月23日(火)	第13回ネットワーク生態学シンポジウム http://www.neteco.jp/symposium/2016/index.html	6月24日(金)	定員になり次第	かずさアカデミアホー ル(千葉県木更津市)
8月22日(月)～ 8月24日(水)	情報教育シンポジウム2016 (SSS2016) http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2016	5月9日(月)		グリーンピア大沼
8月24日(水)～ 8月25日(木)	第80回モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム・ 第17回コンシューマ・デバイス&システム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mb180cnds17.html	6月27日(月)	当日のみ	芝浦工業大学豊洲校舎
8月25日(木)～ 8月26日(金)	第137回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is137.html	7月1日(金)	当日のみ	公立ほこだて未来大学
8月25日(木)～ 8月26日(金)	第42回組込みシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/emb42.html	7月4日(月)	当日のみ	下呂温泉水明館
8月29日(月)～ 8月30日(火)	第169回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci169.html	7月12日(火)	HCI研究会 Web ペー ジでご確認ください	源平荘(山口県下関市)
8月30日(火)～ 8月31日(水)	平成28年度電気関係学会東北支部連合大会 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/index.html	6月20日(月)		東北工業大学 八木山キャンパス

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
8月31日(水)～	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2016 (SES2016)			東洋大学 白山キャンパス
9月2日(金)	http://ses.sigse.jp/2016/			
9月2日(金)	第73回電子化知的財産・社会基盤研究発表会	7月10日(日)	当日のみ	新潟大学 駅南キャンパス「ときめいと」
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip73.html			
9月5日(月)～	第163回コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学研究発表会	6月30日(木)	当日のみ	宇奈月温泉 杉乃井ホテル
9月6日(火)	www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg163.html			
9月7日(水)～	FIT2016 第15回情報科学技術フォーラム	5月23日(月)		富山大学 五福キャンパス
9月9日(金)	http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2016/			
9月12日(月)～	平成28年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会	6月30日(木)		豊田工業高等専門学校 (愛知県豊田市)
9月13日(火)	http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo2016/			
9月12日(月)～	第11回セキュリティ国際ワークショップ (IWSEC2016)			御茶ノ水ソラシティ
9月14日(水)	http://www.iwsec.org/index.html			
9月13日(火)～	平成28年度電気関係学会北陸支部連合大会	7月15日(金)		福井工業大学
9月14日(水)	http://2016.jhes.jp/			
9月14日(水)	第66回高度交通システムとスマートコミュニティー研究発表会	7月15日(金)	当日のみ	日本大学 駿河台キャンパス
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its66.html			
9月14日(水)～	第8回コラボレーション技術に関する国際会議 (CollabTech2016)			石川県政記念しいのき 迎賓館
9月16日(金)	http://www.collabtech.org/			
9月14日(水)～	DA シンポジウム2016—システムとLSIの設計技術—	6月24日(金)		山代温泉ゆのくに天祥
9月16日(金)	http://www.sig-sldm.org/das/			
9月15日(木)～	第156回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会	7月19日(火)	当日のみ	小樽経済センター
9月16日(金)	(HOKKE-23)			
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc156.html			
9月17日(土)	平成28年度電気関連学会四国支部連合大会	7月22日(金)		徳島大学常三島 キャンパス
	http://www.sjciee.org/			
9月23日(金)	第159回アルゴリズム研究発表会	7月15日(金)	当日のみ	徳島大学
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/all159.html			
9月26日(月)	関西支部支部大会	6月17日(金)		大阪大学中之島センター
	http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_2016/index.html			
9月29日(木)～	平成28年度(第69回)電気・情報関係学会九州支部連合大会	7月13日(水)	聴講事前参加	宮崎大学 (木花キャンパス)
9月30日(金)	http://www.jceee-kyushu.jp/		申込期間6/13-8/12	
9月30日(金)	連続セミナー 2016 第3回「スマートなヘルスケアとライフケア」		定員になり次第	日本大学理工学部駿河 台校舎1号館/ 大阪大学中之島センター
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html			
10月4日(火)～	第9回モバイルコンピューティングとユビキタスネットワークに関する国際会議 (ICMU2016)			DFKIKaiserslautern, Germany
10月6日(木)	http://www.icmu.org/icmu2016/			
10月19日(水)～	マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS2016)	6月18日(土)		ブラザホテル山麓荘 (秋田県田沢湖)
10月21日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dpsws2016.html			
10月20日(木)～	組込みシステムシンポジウム2016 (ESS2016)			早稲田大学
10月22日(土)	http://www.sigemb.jp/ESS/2016/			
10月22日(土)	平成28年度(第67回)電気・情報関連学会中国支部連合大会	8月19日(金)		広島大学工学部 東広島キャンパス
	http://rentai-chugoku.org/index.html			
10月28日(金)	連続セミナー 2016 第4回「広がりを見せるIoTの現状と今後の展望」		定員になり次第	日本大学理工学部駿河 台校舎1号館/ 大阪大学中之島センター
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html			
11月4日(金)～	ゲームプログラミングワークショップ2016 (GPW-16)			軽井沢学習研修所 (予定)
11月6日(日)	http://www.ipsj.or.jp/sig/gi/			
11月12日(土)～	エンタテインメントコンピューティングシンポジウム (EC2016)		当日可	グランフロント大阪・ 相愛大学
11月14日(月)	http://ec2016.entcomp.org/index.php			
11月15日(火)	連続セミナー 2016 第5回「メディアアート」		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センタ
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html			
12月22日(木)	連続セミナー 2016 第6回「フィンテック～ブロックチェーンの理解と応用～」		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センター
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html			

2017年

3月16日(木)～	情報処理学会第79回全国大会			名古屋大学
3月18日(土)	http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/79/			東山キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

6月15日	人材募集情報 (Vol.57 No.7)
6月15日	会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.57 No.7)
6月14日	論文誌「情報システム論文」特集 論文募集
6月14日	論文誌「ネットワーク科学」特集 論文募集
6月14日	論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC 2016」特集 論文募集
6月14日	「IoTセキュリティガイドライン (案)」に関する意見
6月6日	2016年度定時総会について
5月31日	[プレスリリース]2016年度認定情報技術者 (CITP) 企業認定の審査日程のお知らせ

ご意見をお寄せください！

【8月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員） (g) その他…………… 4- []
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員） (j) その他…………… 5- []
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上…………… 6- []
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性…………… 7- []
- (8) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ…………… 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌およびWeb）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない…………… 9- []
- (10) 今月号（2016年8月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：教育のインターネット化…………… 10-1- []
- 特別解説：マイナンバーを記録したタブレットやノートPCはメーカー修理してもらえない？…………… 10-2- []
- 特集：SAT 技術の進化と応用
1. SAT 技術の進化…………… 10-3- []
2. SAT とパズル…………… 10-4- []
3. SAT とラムゼー数…………… 10-5- []
4. SAT と AI…………… 10-6- []
5. SAT ソルバーの最近の進展…………… 10-7- []
6. MaxSAT：SAT の最適化問題への拡張…………… 10-8- []
7. SMT ソルバーによるプログラム検証…………… 10-9- []
- センシング技術を用いたスポーツ情報解析…………… 10-10- []
- デジタル手書きの情報処理…………… 10-11- []
- IT好き放題：もう1つの「難民」問題…………… 10-12- []
- あなたの知らないプログラミングの世界：プログラミングを学ぼう！…………… 10-13- []
- あなたの知らないプログラミングの世界：まねておぼえるプログラミングのいろは（前編）…………… 10-14- []
- 会誌編集委員会女子部…………… 10-15- []
- べた語義：全高情研（ぜんこうじょうけん）…………… 10-16- []
- べた語義：近隣地域の公立学校と連携した教育の情報化に対応できる教員の養成…………… 10-17- []
- べた語義：情報科教員を目指す学生さんに向けたガイダンス会…………… 10-18- []
- 2015年度論文賞の受賞論文紹介…………… 10-19- []
- 2015年度長尾真記念特別賞紹介…………… 10-20- []
- 2015年度喜安記念業績賞紹介…………… 10-21- []
- 寄稿：山口英教授追悼…………… 10-22- []
- 女子部が行く！：情報処理教育委員会…………… 10-23- []
- ピブリオ・トーク：現代倫理学入門…………… 10-24- []
- 会議レポート：PerCom 2016 参加報告…………… 10-25- []
- 会議レポート：会誌編集委員会女子部～番外編！～インタラクティブ 2016 Women's Luncheon 開催報告…………… 10-26- []
- 連載漫画：IT日和…………… 10-27- []
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔11-1〕良かった記事…………… 11-1- []
- 〔11-2〕この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家…………… 11-2- []

- [11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）…………… 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）
- [12] 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- [12-1] 良くなかった記事 …………… 12-1- []
- [12-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 …………… 12-2- []
- [12-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）…………… 12-3- []
- a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）
- [13] 今の特集に対する貴方の立場を教えてください。
- [13-1] SAT 技術の進化と応用：a) 専門家 b) 非専門家 …………… 13-1- []
- [14] 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。
- [15] 会誌に対するご意見や感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会誌配布、会員特典、会費等口座振替、海外からの送金、賛助会員、電子図書館
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、コンピュータ博物館（情報処理技術遺産）、著作権
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス（DP）の編集・査読、DP レポート
図 書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／JIP／トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、研究グループ、シンポジウム、国際会議、IFIP 委員会、情報処理教育委員会、ア krediyation 対応、認定情報技術者制度
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、プログラミングコンテスト、プログラミング・シンポジウム、協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナー、短期セミナー、IT フォーラム、ソフトウェアアジャパン、その他講習会
■ 管理部門			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会、支部、選挙、総務系選奨、関連団体、アドバイザーボード
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、セキュリティ、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
■ 情報規格調査会			
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.57 No.7 (July 2016)



【特集：Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC 2015】

- Editor's Message to Special Issue of Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC 2015
Hiroyuki Sato
- Pain Level Detection From Facial Image Captured by Smartphone
Sheikh Iqbal Ahamed 他
- Virtual Organization Platform Interoperability Provides the Long Tail an eScience Environment
Motonori Nakamura 他
- Expanding Event Systems to Support Signals by Enabling the Automation of Handler Bindings
Yung Yu Zhuang 他
- Scalable Pub/Sub system using OpenFlow Control
Toyokazu Akiyama 他
- Spray Router with Node Location Dependent Remaining-TTL Message Scheduling in DTNs
Agussalim 他
- Fluid-Based Analysis for Understanding TCP Performance on Scale-Free Structure
Yusuke Sakumoto 他

【一般論文】

- 要求獲得のためのシソーラス構築支援
加藤潤三 他
- 省電力ジオフェンシングのための測位特性を考慮したハイブリッド測位方式
中川智尋 他
- 歩行・停止情報を用いたユーザの移動経路推定手法
寺田 努 他
- 係り元の末尾表現に着目した Hierarchical Tag Context Tree を利用した日本語意味役割付与システムの構築
石原靖弘 他
- 老化時の皺の個人性を考慮した経年変化顔画像合成*
サフキン パーベル 他
- Implementing a Rasterization Framework for a Black Hole Spacetime
Yoshiyuki Yamashita
- データフロービジュアル言語を用いた多次元データ可視化手法の開発環境
伊藤隆朗 他
- 車輪付き手動移動体の走行負荷にもとづく歩道の評価方法
隅田康明 他

*：推薦論文 Recommended Paper

†：テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (July 2016)

【論文誌 コンピューティングシステム Vol.9 No.2】

- キャッシュの効果を考慮したルーフラインモデルの拡張によるプログラムの性能予測
南 一生 他
- スーパーコンピュータ「京」上でのエクソーム解析パイプラインの開発
青山健人 他
- Octree 型 AMR を導入した格子ボルツマン法の C++ テンプレートを用いたカーネル生成による GPU 計算の高速化
長谷川雄太 他

- メニーコアにおける派生データ型を用いた MPI ノード内通信の高速化
高田明男 他
- Design of object storage using OpenNVM for high-performance distributed file system
Fuyumasa Takatsu 他



読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371



デジタルプラクティス掲載論文リスト

Vol.7 No.3 (July 2016)

【特集：俊敏さを実現する新しい情報システム開発—エンタープライズアジャイルを中心に—】

【特集号招待論文】

- アジャイルと品質会計—プロジェクトの高成功率を確保するハイブリッドアジャイルへの取り組み— 誉田直美
- グローバル分散開発におけるアジャイル適用 松下 望 他
- 通信事業者における Lean & Agile 適用事例—企業向け IT とエンジニアの物心両面での改善のために— 藤井彰人
- 楽天でのエンタープライズアジャイルと DevOps—Dev/Test/Ops 三位一体の自動化— 川口恭伸 他
- 委託開発におけるハイブリッドアジャイルの適用効果 英 繁雄 他
- アジャイル開発プロジェクトマネジメントに対応する人材育成—改善によって成長を期待するマネジメント— 松浦豪一

【特集号投稿論文】

- 中国オフショア体制における Scrum 実践手法の提案と検証 杉浦由季 他
- 社内でアワビを飼育して実践するアジャイル開発—クラウドサービス：NEC 養殖管理ポータルの開発— 西潟憲策 他

- 《インタビュー》平鍋健児氏, 藤井 拓氏 インタビュー「進化し続けるアジャイル, IoT 時代のビジネス・エンジニアリングに向けて」インタビュー— 山下博之, 藤瀬哲朗

【一般投稿論文】

- 個人情報影響評価の健診総合システムへの適用 瀬戸洋一 他
- Web アプリからの遠隔操作に対応したスマート TV 向け不正操作防止技術 磯崎 宏 他
- 「デジタルフォレンジック実践講座」開発の取り組み 若月里香 他
- システム統合の最終プロジェクトにおける簡易なデータ移行方式の適用 角田 仁
- 計画アクティビティにおける大規模分散処理システムのシステム検証の効率化 梅田昌義 他



フォロー・リツイート
お願いします

◎twitter で情報発信中！

情報処理学会ツイッター➡ @IPSJcom

- ソフトウェア工学研究会➡ @IPSJ_SIGSE
- ハイパフォーマンスコンピューティング研究会➡ @HpcCommittee
- ヒューマンコンピュータインタラクション研究会➡ @ipsj_sighci
- 情報基礎とアクセス技術研究会➡ @sigifat
- モバイルコンピューティングとユビキタス通信➡ @ipsj_sigmbi
- インターネットと運用技術研究会➡ @IPSJ_SIGIOT
- 自然言語処理研究会➡ @ipsj_signl
- 音楽情報科学研究会➡ @ipsj_sigmus
- コンピュータと教育研究会➡ @ipsjce
- エンタテインメントコンピューティング研究会➡ @ipsj_sigec
- バイオ情報学研究会➡ @sigbiojapan



いいね！・シェア
お願いします

◎Facebook で情報発信中！

情報処理学会ページ www.facebook.com/IPSJcom

- 計算機アーキテクチャ研究会 www.facebook.com/groups/ipsj.sigarc/
- システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 www.facebook.com/groups/ipsj.sigos/
- モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会 www.facebook.com/IPSJ.SIG.MBL
- インターネットと運用技術研究会 www.facebook.com/ipsjiot
- コンシューマ・デバイス&システム研究会 www.facebook.com/sig.cds
- 電子化知的財産・社会基盤研究会 www.facebook.com/eipjp
- 会員の力を社会につなげる研究グループ www.facebook.com/ssr.ipsj

SATの特集をしたいという話が出たとき、多くの方から「専門的すぎるのではないかと心配された。確かに、SATはその英語3文字の名前が怖いだけでなく、形式論理やNP完全性などという抽象理論がついて回る。忌避されてしまうのも無理はない。

しかし今やSATを楽しみ利用するのに、そのような背景知識は必須ではない。専門家以外にとっては、変なパズル(SAT)を解く変な生物(SATソルバー)がいる、という程度の認識でも十分である。その変な生物がなぜか人間の役に立つのだから面白くないわけがない。これは、言うなれば豚でトリュフを探すようなものだ。豚がなぜどうやってトリュフを見つけるかを知らなくてもトリュフ農家になることはできる。SATも同様で、SATの理論やSATソルバーの原理を知らなくても、それを活用できる状況になっている。もちろん、理論や原理が分かればよりディープな楽しみ方ができるのは言うまでもない。

SATが面白いとしても、それを面白い特集記事にできるかどうかは別である。専門家にしか読めないような原稿が上がってきたらどうしようという私の心配とはうらはらに、著者の皆様は幅広いトピックを極力平易に解説してくださった。しかも、単にSATを使うだけにとどまらない、ディープな楽しみへ繋がる内容となっており、「情報処理」にふさわしいものになったのではないかと思う。ゲストエディタを務めていただいた神戸大学の番原陸則先生・山梨大学の鍋島英知先生(両先生は著者としてもご参加いただいている)には、著者集めから閲読まで大変なご尽力をいただいた。さらに、この企画の立ち上げは東北大学の松田一孝先生によるものである。さまざまな方々のお力で、すばらしい特集を世に出すことができた。皆様に心からの感謝を捧げたい。

(森畑明昌/本特集エディタ)

次号(9月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」フィンテック

なぜ今FinTechとBlockchainが目ざされ、どう社会を動かすのか/透明性と公平性を実現するブロックチェーン技術/フィンテックのビジネスモデル/フィンテックの法と制度

「小特集」アプリケーションによる個人学習

学習データとアダプティブラーニング—つまづきをなくし、学習プロセスを最適化する—/スタディサプリとは何か。その概要と特徴/ベンチャーが作る学習アプリケーション—私が見て、作り、感じたIT教育の未来—/保護者視線のICT利用教育

特別解説：4K・8K 衛星放送 試験放送開始 青木秀一
 スマートフォンのプライバシーと安全保障 土屋 俊
 報告：未踏の第22期スーパークリエータたち 竹内郁雄

トピックス：研究会推薦博士論文速報

学会活動報告：情報技術の国際標準化と日本の対応—2015年度の情報規格調査会の活動—

教育コーナー：べた語義

連載：あなたの知らないプログラミングの世界—プログラミングがこんなに面白って知っていましたか?—/IT日和/会誌編集委員会女子部/ビブリオ・トーク

コラム：巻頭コラム/シニアコラム：IT好き放題

会議レポート：情報処理学会第78回全国大会報告

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	190,000円 (税込205,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	165,000円 (税込178,200円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		
同封 (A判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」 57巻8号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース …………… 表2対向 日本マイクロソフト …………… 表2
 オーム社 …………… 前付最終 日立製作所 …………… 表4
 すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

Orchestrating a brighter world

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

三菱電機 (株)

CyberAgent.

(株) サイバーエージェント

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

RECRUIT

(株) リクルートホールディングス

Google

グーグル (株)

docomo

(株) NTT ドコモ

TOSHIBA

(株) 東芝

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

NTT DATA

NTT データ (株)

OKI

沖電気工業 (株)

GREE

GREE (株)

楽天

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic

パナソニック (株)

FORUM 8
フォーラムエイト

(株) フォーラムエイト